

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

医療機関名： 弘前大学医学部附属病院
消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科
研究責任医師： 須藤 亜希子

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を国立大学法人弘前大学総合臨床研究審査委員会の承認ならびに実施医療機関の管理者の許可のもと、臨床研究法および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 直腸癌術前短期放射線療法における有害事象に対する柴苓湯の効能についての検討

研究の目的

局所進行直腸癌の治癒率向上を目的に、術前短期放射線療法が行われておりますが、副作用として放射線性腸炎による下痢が知られています。本研究は、柴苓湯を内服することで、下痢を予防できるかを検討することを目的としています。

研究実施期間 2025 年 10 月 1 日 ～ 2031 年 4 月 30 日

対象となる方 2025 年 10 月 1 日～2030 年 10 月 30 日までの間、附属病院消化器外科を受診し、直腸癌と診断され、短期放射線治療ののち手術を受けられた方。

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、臨床所見や血液検査所見、画像所見、病理所見などについて、標記研究のために利用します。具体的には、直腸癌患者さんのうち、術前短期放射線治療を受けた方の、下痢や副作用の発生率などについて、統計解析的手法を用いて比較することで、副作用の改善などに寄与するかを明らかにしたいと思います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしません。

外部への試料・情報の提供

本研究において、患者様の情報を他機関へ提供する予定はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先

弘前大学医学部附属病院 消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科 須藤亜希子
0172-39-5079/akiko-s@hirosaki-u.ac.jp